

9.5sq. インパクトレンチ No.JAP130 取扱説明書



安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークをつけています。

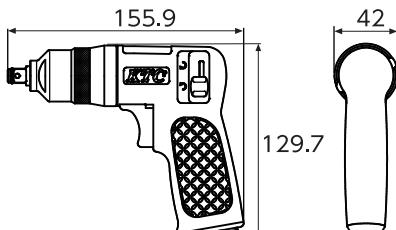
	△ 拡大損害が予想される事項	● 必ず行う
	○ 禁止行為	◎ 分解禁止

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく使用してください。

	警告 死亡や重傷の原因となる。	重要事項	危険・損害
		●ガソリン、ガス等の引火性の高い危険物の近くで作業しない。	爆発、発火により死亡や重傷を負う原因となる。
		●暗い場所で作業を行わない。	重傷となるケガの原因となる。
		●作業対象物を必ず固定する。	重傷となるケガの原因となる。
		●小さい子供がふれないところに保管する。	重傷となるケガや本体の破損、器物破損の原因となる。

	注意 ケガや器物損傷の原因となる。	重要事項	危険・損害
		●先端工具を装着した状態で空転させない。	先端工具が飛び、重症となるケガの原因となる。
		●工具本来の使用用途以外には使用しない。	ケガや器物破損の原因となる。
		●分解・改造しない。	ケガや器物破損の原因となる。
		●投げる、落とすなど衝撃を与えない。	本体の破損や器物破損の原因となる。
		●本体が熱くなったり、異常を感じたら使用を中止する。	ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。
		●ハンマー等で叩いて衝撃を加えない。	ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。
		●圧縮空気以外の動力源を使用しない。	ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。
		●製品を濡らさない。	本体の破損の原因となる。
		●割れ、欠け、摩擦、変形等の異常がみられる先端工具は使用しない。	ケガや器物破損の原因となる。
		●振動や騒音が出るので、長時間の連続作業はしない。	本体の破損や器物破損の原因となる。
		●使用時は保護メガネ、耳栓、安全帽、防塵マスク、安全靴を着用する。	ケガの原因となる。
		●定期的に保守点検を行い、異常が認められる場合は使用を中止する。	ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。
		●作業に適した服装で作業する。	ケガの原因となる。
		●修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	ケガや本体の破損の原因となる。
		●使用時は近くに人を近づけない。	ケガや本体の破損の原因となる。

製品寸法



- <梱包内容>
- ・本体
 - ・エアカプラ
 - ・エアツール用オイル
 - ・エアレギュレーター
 - ・取扱説明書（本体）

諸元

No.JAP130	
ドライブ角	9.5sq.
先端工具止め方式	リング止め式（ピン穴有）
能力ボルト径	M8
トルク	最大:60N·m／実用:40N·m
無負荷回転数	10000rpm以上
最適使用空気圧	0.62MPa（動圧）
無負荷空気使用量	0.3m³/min
エアインレット	NPT1/4"
使用エアホース内径	8mm以上
重量	0.63Kg

使用方法

注意

ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害	絵表示	重要事項	危害・損害
!	●作業対象物を確実に保持する。	ケガや器物破損の原因となる。	!	●専用の先端工具を使用する。	ケガや器物破損の原因となる。
!	●先端工具の交換は必ずエアカプラを取り外してから行う。	ケガや器物破損の原因となる。	!	●エアカプラを確実に取り付ける。	ケガや器物破損の原因となる。
!	●清掃で乾燥した圧縮空気を使用する。	本体の破損の原因となる。	!	●先端工具がしっかりと装着されているか確認する。	ケガや器物破損の原因となる。

●使い方

()
連続して1分以上稼働させない。異常劣化する恐れがある。

① 使用目的に合った先端工具（ソケット等）をドライブ角に取り付ける。

()
ソケット等の先端工具はインパクトレンチ用を使用する。

② エアカプラをエAINレット部に取り付ける。

()
推奨エア圧：0.6～0.7MPa (6～7kgf/cm²)

③ 切替レバーで回転方向を決める。

Ⓐ：時計方向（右回転） Ⓛ：反時計方向（左回転）

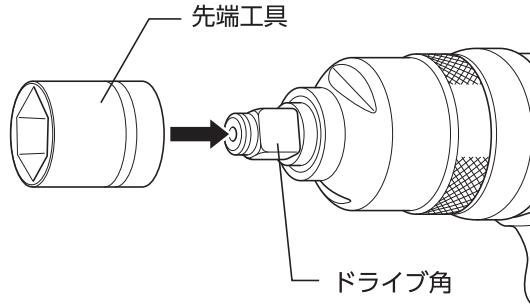
④ 対象のボルト、ナットに先端工具を合わせる。

⑤ トリガーを引き、対象のボルト、ナットを締める、または緩める。

⑥ 作業が完了したらトリガーを離し、回転が止まるのを確認する。

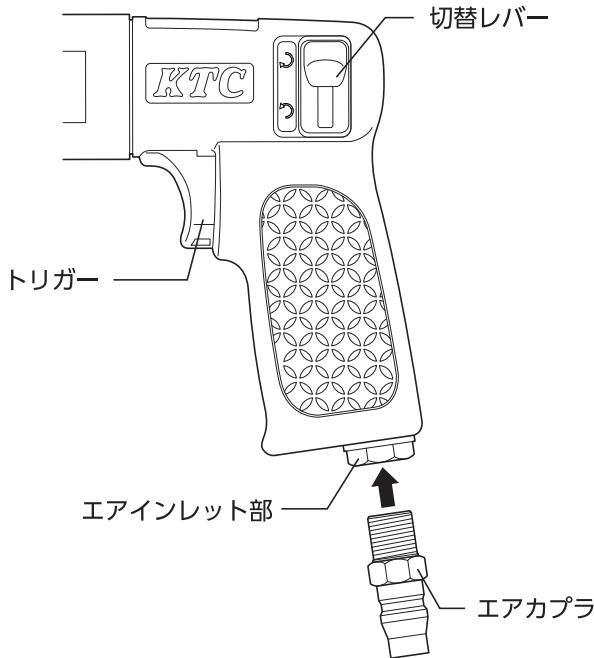
()
● 使用後はエアホースを外し、エAINレット部よりオイルを数滴注油する。
● エAINレット部からホコリやゴミが入らないように保管する。

確認
● ツール機能は有しておりません。作業後はトルクレンチで既定のトルク値で締めてください。



●お使いになるエア（圧縮空気）について

()	劣化したエアホースは使用しない。
()	エア配管にはフィルター、レギュレーター、オイラーを装備する。
()	コンプレッサの配管は定期的に清掃し、ドレンや水分を除去する。
()	エア機器全体で使用することができる十分な能力のコンプレッサ、配管及びホースを使用する。
()	付属のエアカプラを使用する。



●トラブルシューティング

○動かない・・・

- ・エアツールのスイッチは正常ですか。
- ・エアホースは接続されていますか。
- ・エアが来ていますか。
- ・コンプレッサは正常に稼働していますか。

○本来の力が得られない・・・

- ・エア圧は適正ですか。高すぎても低すぎてもX。
- ・エアホースの内径は適正ですか。
- ・コンプレッサの能力は十分ですか。
- ・レギュレーターは適正に調整されていますか。

販売者の名称・所在地： 京都機械工具株式会社

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品のお問い合わせはお客様窓口までお寄せください。

お客様窓口

☎ (0774)46-4159

FAX (0774)46-4359

E-mail : support@kyototool.co.jp
電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00
(土・日・祝祭日及び弊社休業日除く)

製品情報 <http://ktc.jp/>

製造国：日本

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

T067005-0,16,08,KTC